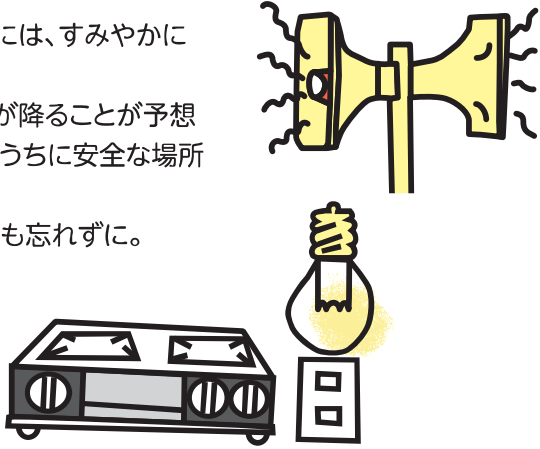


避難時の心得

避難を行う際にもいろいろな危険がひそんでいます。**あわてず、すみやかに、注意深く**行動しましょう。

素早く行動しましょう

- ◎避難勧告や避難指示には、すみやかにしたがいましょう。
- ◎台風接近や夜に大雨が降ることが予想される場合は、明るいうちに安全な場所に避難しましょう。
- ◎ガスや電気のチェックも忘れずに。



- ◎となり近所と声をかけあって、みんなと一緒に避難しましょう。
- ◎近くに支援を必要とされる方がいたら、助け合いましょう。



- ◎避難の際は、車の使用を控えましょう。
(渋滞に巻き込まれたり、道路浸水により排気口から水が入り、止まってしまうことがあります)
- ◎やむを得ず車を使用する場合には、避難路が浸水していないことなどに注意し、早めに避難しましょう。



- ◎すでに浸水が始まっているなど、屋外へ避難するとかえって危険な場合があります。
逃げ遅れたときは、建物のできるだけ高い場所に避難しましょう。
背後にがけがある場合は、がけからできるだけ離れた部屋に避難しましょう。

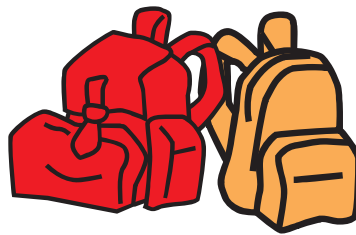


服装や所持品にも注意しましょう

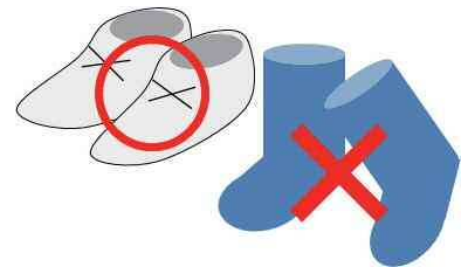
- ◎服装は身軽で目立つものにしましょう。



- ◎荷物は少なく。リュックなどを使ってできるだけ両手をあけましょう。



- ◎スニーカーなど履きなれた靴で避難しましょう。長靴は、水が入って歩きにくくなることがあります。



避難経路にある危険に注意しましょう

- ◎水の中を歩くときは、側溝やフタの外れたマンホールなどに注意し、棒などで安全を確かめながら歩きましょう。



- ◎がけなどの近くを通るときは、がけ崩れなどに注意し、がけからできるだけ離れて歩きましょう。



- ◎避難の際は、できるだけ河川の近くやアンダーパスを避けて避難しましょう。

